

第2 実践事例

事例1 自己のイメージをもち、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する生徒の育成の事例

○学年 第2学年

○領域・分野 A表現 (1) 歌唱ア、イ(ア)、ウ(ア)

○事例のポイント

- ①生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素は、【音色、旋律、強弱】である。
- ②曲にふさわしい表現をするために必要な歌唱技能の習得に向けた活動を例示する。
- ③曲想と歌詞の内容が表す情景や心情とを関連させながら、歌唱表現に対する思いや意図をもてるような指導を展開する。
- ④ICT端末を活用した歌唱の評価の工夫と学びの蓄積の例示をする。

1 題材名 情景や心情をイメージし、表現を工夫して歌おう（4時間扱い）

2 題材について

(1) 生徒の実態

本学級の生徒は、楽しみながら音楽の学習に取り組み、音や音楽から感じたことを、素直に表現しようという姿勢が見られる。歌唱の授業においては、曲のもつよさやイメージを感受し、楽譜から読み取れることや音楽を形づくっている要素との関わりを考えることで、曲にふさわしい表現を工夫して歌う活動に取り組んできた。これまでの歌唱活動の中で「どのように歌うのか」について思考・判断し、思いや意図をもって歌うことはできるが、その思いや意図を「どのように表現するのか」という、技能を身に付けることについては課題が見られる。

(2) 題材について

本題材は曲想と歌詞の結び付きに着目し、音楽を形づくっている要素との関わりを思考・判断することで、曲にふさわしい歌唱表現へとつなげることをねらいとしている。

本題材では、「旅立ちの時～Asian Dream Song～」を教材に設定し、曲想と歌詞からイメージできる思いを感じ取り、歌唱表現につなげる学習を展開する。既習曲「夏の思い出」では、歌詞の内容と旋律・強弱の特徴から情景をイメージし、音楽に対する自分なりに感じ取ったことを大切にして表現を工夫して歌う学習を展開した。実際の尾瀬沼の景色や歌詞の内容と音楽記号との関わりを捉え、イメージをふくらませながら歌唱活動に取り組むことで、イメージと音楽とのつながりを、実感を伴って理解し表現することができた。この学習を生かし、本題材では、曲想と歌詞の内容との関わりを手がかりに、この曲に込められた思いを想像することで、曲にふさわしい歌い方を工夫する。また、生徒が思考・判断した表現を実際に歌って確かめる活動を通して、自身の演奏を客観的に捉えるとともに、歌声の音色や強弱などを通して表現したい思いや意図が表現できているかについて考える。これらの学習をもとに歌唱表現の楽しさを味わわせるとともに、グループで交流する時間を設けることで音楽的な見方・考え方を広げる。そして、思いや意図を大切に、曲にふさわしい歌唱表現を工夫して歌う生徒の育成を図る。

記述のポイント

生徒の実態については、音楽の学習における生徒の様子や課題を記述する。

特に、本題材で学習する内容や音楽を形づくっている要素に関わることについて具体的に記述することが望ましい。

また、必要に応じて題材に関わるアンケート結果等を掲載することも考えられる。

題材については、題材における教師の指導の意図が伝わるよう、学習形態や指導のねらいなど、題材における指導の留意点について記述する。

その際、指導の観点を分かりやすくするために、(1)生徒の実態の内容を踏まえ、生徒が何を学ぶか、どのように学ぶのか、何ができるようになるかを明らかにして記述することが望ましい。

(3) 学習指導要領との関連について
 本題材では、学習指導要領の
 A表現 (1) 歌唱ア、イ (ア)、
 ウ(ア)、生徒の思考・判断のより
 どころとなる主な音楽を形づく
 っている要素として「音色」
 「旋律」「強弱」を指導するもの
 とする。

学習指導要領との関連については、題材に関わる学
 習指導要領の指導事項について記述する。
 中学校学習指導要領解説音楽編の指導計画作成上
 の配慮事項として、次のように示されている。

(2) 第2の各学年の内容の「A表現」の (1), (2) 及び
 (3) の指導については、ア、イ及びウの各事項を、
 適切に関連させて指導すること。

そのため、題材で指導する歌唱、器楽、創作におい
 ては、それぞれに適切なア、イ、ウを選択して設定す
 る必要がある。

また、題材においての生徒の思考・判断のよりど
 ころとなる主な音楽を形づくっている要素についても
 精選し、適切に設定することが重要である。

3 題材の目標

(1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生か
 した表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。

〈知識及び技能〉

(2) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚
 したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫す
 る。

〈思考力、判断力、表現力等〉

(3) 曲想と歌詞の内容との関わりについて関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協
 働的に歌唱の活動に取り組む。

〈学びに向かう力、人間性等〉

4 教材について


「旅立ちの時～Asian Dream Song～」 ドリアン助川 作詞／久石譲 作曲／富澤裕 編曲

1998年長野パラリンピックのテーマ曲として作曲されたこの曲は、日本の情緒的な音階が織り
 なす、幻想的な美しい旋律が特徴である。また、メッセージ性の強い歌詞の内容も魅力的で、生
 徒が表現したいイメージをふくらませやすい曲である。そこで、曲想と音楽の構造や歌詞の内容
 との関連に着目して、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う学習が効果的に実現するこ
 とができると考え、教材に設定した。

5 学習指導要領の指導事項と〔共通事項〕との関連及び具体的な学習活動

指導事項	歌唱ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふ さわしい歌唱表現を創意工夫すること。 歌唱イ(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについ て理解すること。 歌唱ウ(ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、 身体の使い方などの技能を身に付けること。
〔共通事項〕	ア 音色、旋律、強弱 イ pp ff ☺
具体的な 学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想、情景や歌詞の内容をもとに、表現のイメージをふくらませながら歌う。 ・楽譜に記されている音楽記号や歌詞の内容を理解し、歌詞と旋律との関連について考える。 ・一人一台端末での録音や録画を活用し、歌唱表現の工夫と改善をする。 ・聴き手に表現したい思いや意図が伝わるように、表現を工夫して歌う。

6 題材の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>知 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。</p> <p>技 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p>	<p>思 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、ふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>態 曲想と歌詞の内容との関わりについて関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
1時			
2時	知 観察・記述		
3時		思 観察・記述・聴取	
4時	技 聴取・記述		

実践事例として活用しやすいよう、「事例のポイント」を記載しているが、本来は評価項目となる箇所である。(P111 評価資料を参照)

7 指導と評価の計画 (全4時間)

時	◆ねらい ○学習内容 ・学習活動 T：具体的な発問 S：具体的な生徒の姿	○指導上の留意点	事例のポイント ◎留意事項
1次◆曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて関心を持ち、理解する。			
1	<p>○曲全体の雰囲気を感じ取り、曲想に合った歌い方を考える。</p> <p>・「旅立ちの時」の合唱を聴き、曲想を感じ取る。</p> <p>・曲のよさについて話し合い、表現のポイントになる部分を考え、楽譜に書き込む。</p> <p>T：曲想や歌詞の内容から、どのような思いが伝わってくるだろうか。</p> <p>S：短調で全体的に力強く語りかけるような曲想だから、旅立ちへの強い決意が感じられる。</p> <p>・パートごとに旋律を歌う。</p>	<p>○音色、旋律、強弱などの音楽を形づくっている要素を提示し、聴いたり、口ずさんだりしながら考えられるようにする。</p> <p>○楽譜や縦書きの歌詞カードを活用し、歌詞の内容を読み深め、曲想と歌詞の内容との関わりに気付けるようにする。</p> <p>○作曲者自身の演奏動画（ピアノとオーケストラ）を鑑賞することで、曲に対するイメージをより深めさせる。また、合唱表現にどのように生かすことができるかについて具体的に考えられるようにする。</p>	<p>ポイント① ◎楽曲の雰囲気を感じ取り、音色、旋律、強弱などを基にして曲想に合った歌い方を考えられるようにする。</p> <p>ポイント③ ◎楽譜や縦書きの歌詞カードを活用することで、歌詞の内容を読み深めるとともに、作詞者・作曲者の思いや意図についても考えられるようにする。</p>
2	<p>○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。</p> <p>T：特に表現を工夫したいと感じる部分はどこだろうか。</p>	<p>○unis. とdiv. が効果的に使われていることにも着目させ、曲全体の構成と曲想との関わりを考えられるようにする。</p> <p>○歌詞の内容から曲に込められたメッセージを捉え、音楽の</p>	<p>ポイント② ◎曲の山場をunis. やdiv. で歌い比べることで、曲全体の構成と曲想の変化の特徴を感</p>

	<p>S：曲の山場の特徴がある。歌詞が「Ah」の部分が印象的。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パートや学級全体で共有し、学級全体で合唱する。 	<p>特徴を基に、どのように歌いたいかについて思いや意図をもてるようにする。</p>	<p>じ取ることができるようにする。</p>
<p>2次◆音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、ふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつとともに、創意工夫を生かして歌う。</p>			
<p>3 本 時</p>	<p>○音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、ふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の「山場」と「最後」の部分の表現を考える。 ・曲の山場にあるffの母音唱と、曲の最後にあるフェルマータのついたハミングに込められた思いを曲想や歌詞の内容から想像し、ふさわしい表現を考える。 <p>T：「Ah」(ヴォリーズ)には、どのような思いが込められているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の山場である部分に歌詞のない音の重なりが出てくることをおさえ、この部分に込められたメッセージを考える。 <p>T：曲の最後の「Hum.」(ハミング)には、どのような思いが込められているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハミングにフェルマータがついていることをおさえ、余韻や強弱などからどのような思いが感じられるかを考える。 ・考えた表現を聴き手に伝えるために、ふさわしいと思う余韻の長さや強さを考える。 <p>T：考えた表現が聴き手に伝わるように合唱しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えた歌唱表現を確かめながら合唱し、録画する。 	<p>○前時の学習を振り返り、2ヶ所にポイントを絞ってグループ(パート)で意見交換しながら表現を考えることで、どのように歌いたいかについての思いや意図を共有できるようにする。</p> <p>○母音唱や特徴的な旋律の動きと歌詞の内容とを関わらせながら考えることで、作曲者の思いや意図を想像し、表現を工夫できるようにする。</p> <p>○曲の最後にあるハミングの表現に視点を当て、グループで意見交流したり歌い試したりすることで、どのような表現で歌えばよいかについて考えることができるようにする。</p> <p>○自分たちの演奏を客観的に捉え、更に表現を工夫することができるようにする。</p> <p>○パート(グループ)ごとに考えて試す時間を設け、必要に応じてICT端末で演奏を録音し、思考・判断の過程を客観的に振り返ることができるようにする。</p>	<p>ポイント②</p> <p>◎授業の導入で母音唱やハミング唱に取り組み、声の音色や響きを豊かにし、表現につなげられるようにする。</p> <p>ポイント①・③</p> <p>◎なぜ歌詞が「Ah」(ヴォリーズ)なのかを考えながら、創意工夫して歌うことができるようにする。</p> <p>ポイント④</p> <p>◎ICT端末で録画し記録を残すことで、自身の表現を振り返りながら、演奏を調整できるようにする。また、音源の提出により、歌唱の評価に生かすことができるようにする。</p> <p>◎ICT端末で楽譜やワークシートの書き取りを共有・比較することで、自分たちの演奏を客観的にとらえ、更に創意工夫ができるようにする。</p>

編P88 指導計画作成の留意事項(2)

4

○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。

- ・録画を鑑賞し、表現が聴き手へと伝わってくるかを確認する。
- ・前時の自分たちの合唱を客観的に捉え、歌唱表現における課題を見付ける。

T:「Ah」(ヴオリーズ)の声の重なりをより魅力的に表現するためには、どんな工夫が必要でしょうか。

S: 流れるように、途切れることなく旋律が重なることが大切。
→息継ぎの位置の工夫。

T:「Hum.」(ハミング)の力強さを引き立てるためには、どのようなことに気を付けて歌えばよいですか。

S: *sfp*やアクセントが付いているから印象に残るような歌い方をしたい。音の長さや強さがポイントになる。

T: グループで考えた表現を録画して聴き返し、よりよく改善しましょう。

- ・考えたイメージや工夫を生かして、曲全体を通して歌う。
- ・曲のよさやメッセージが伝わる歌唱表現ができているかを録画して確認し改善する。
- ・学習したことを生かして、全体を合唱する。

○曲にふさわしい歌唱表現をするために、どのように創意工夫して歌えばよいかについて考える。

○グループや個人の歌声を学習者用PCに録音したものを聴いたり、歌ったりしながら、思いや意図を表現ができていないか考え、改善ができるようにする。

音の重なりを実際に歌って試しながら確認→プレスの位置等を改善していく。

プレス位置の生徒記述例



○「Hum.」をどのような響きで歌いたいかについて考え、曲想と歌詞の内容を生かして歌えるようにする。

○フェルマータが付いていることにも着目させ、長さや強さを変えて歌いながら何度も試すことで、自分の考えたイメージと合うハミングになるように表現を工夫させる。

ポイント④

◎ICT端末で録画し記録を残すことで、自身の表現を振り返りながら、演奏を調整できるようにする。また、音源の提出により、歌唱の評価に生かすことができるようにする。



電子メトロノームに合わせてア・カペラで歌うことで、旋律の重なりや表現を確認。

8 本時の学習指導について（3 / 4 時）

(1) 目標

音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、ふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 〈思考力、判断力、表現力等〉

(2) 展開

○学習内容 ・学習活動 T：具体的な発問 S：具体的な生徒の姿	○指導上の留意点 ☆評価規準と評価方法
<p>○前時の学習内容を振り返り、本時の目標を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と歌詞の内容との関わりを確認しながら「旅立ちの時」を歌う。 ・前時のワークシートや楽譜の書き込みを確認する。 	<p>○「どのように歌いたいか」について、前時の学習内容を振り返る発問をすることで、本時の学習につなげられるようにする。</p>
<p>本時の目標 歌詞や曲想にふさわしい表現を考えよう。</p>	
<p>○音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、ふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の「山場」と「最後」の曲想と歌詞の内容を関連させながら、曲の山場にある ff の母音唱に込められた思いを歌詞や曲想から想像し、ふさわしい表現をパート（グループ）で考える。 <p>T：「Ah」（ウァリズ）には、どのような思いが込められているのだろうか。</p> <p>S：音楽的に1番盛り上がるころなのにあえて歌詞がないのは、迷いや言葉にならない思いが溢れていることを表現したかったんじゃないかな。</p> <p>S：強弱がffでとても強いし、旅立ちの時に強い決意で迎えようとしている感じがする。</p> <p>S：各パートの旋律が、途切れることなく重なり合うのに動きがバラバラなのは、出会いや別れを繰り返し、それぞれの道へと旅立つ姿を描いているみたいだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の最後にあるフェルマータのついたハミングに込められた思いを歌詞や曲想から想像し、ふさわしい表現をパート（グループ）で考える。 <p>T：曲の最後の「Hum.」（ハミング）には、どのような思いが込められているのだろうか。</p>	<p>○曲の山場にある母音唱の旋律の表現に視点を当て、パート（グループ）で意見交流したり歌い試したりすることで、どのような表現がよいのか考えることができるようにする。</p> <p>○母音唱や特徴的な旋律の動きと歌詞の内容を関わらせながら考えることで、作曲者の思いや意図を想像できるようにする。</p> <p>○各パートの旋律が重なり合うことから、どのような歌声や強弱で歌うとふさわしいのか、歌って試しながら考えることができるようにする。</p> <p>○パート（グループ）ごとに実際に歌いながらどのように歌いたいかについて試行錯誤する時間を設け、必要に応じてICT端末で演奏を録音し、思考・判断の過程を客観的に振り返ることができるようにする。</p> <p>○曲の最後にあるハミングの表現に視点を当て、グループで意見交流したり歌い試したりすることで、どのような表現がよいのか考えることができるようにする。</p>

<p>S : sfp やアクセントのついた強い音でしめくくられているから、自信や勇気をもてたのかな。</p> <p>S : 直前に rit. が付いていて、ゆっくりと最後のハミングに向かっていながら、何かの答えに辿り着いたことを表現しているみたい。</p> <p>S : フェルマータで余韻が続く終わり方だから、これからもまだ旅路は続いていく、というメッセージのよう。声の音色やフレーズの最後の歌い方も工夫したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パート（グループ）の考え（演奏）を発表し、学級全体で共有する。 <p>T : お互いの工夫した演奏を共有し、よいところを見つけましょう。</p> <p>S : あのグループは、歌詞がはっきり伝わるように子音を大切に表現しているから、強弱だけではなく言葉の伝わり方からも、強い気持ちを感じるのがいいと思う。</p> <p>S : もう少し旋律の最後の rit. を大きめに歌い、声の音色も変化させると、最後の余韻の表現が聴き手の心に残ると思う。</p> <p>○楽曲を通して合唱し、学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えた歌唱表現を確かめながら、創意工夫を生かして合唱する。 <p>T : 考えた表現が聴き手に伝わるように合唱しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱の様子を ICT 端末で録画しておき、振り返りや次時の学習につなげる。 ・ワークシート（楽譜）に、自分が表現を工夫した部分について記述する。 	<p>○パート（グループ）ごとに考えて試す時間を設け、必要に応じて ICT 端末で演奏を録音し、思考・判断の過程を客観的に振り返ることができるようにする。</p> <p>○適宜、表現の工夫に迷っているグループを抽出して演奏を全体で共有することで、学級全体で考えることができるようにする。</p> <p>○各パート（グループ）の演奏を教師が価値付けたり、生徒に価値付けさせたりすることで、学びや気づきを全体で共有する。</p> <p>○パート（グループ）から出た考えを、楽譜（端末上／拡大楽譜）に書き加え、共有する。</p> <p>☆思 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、ふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。（観察・記述・聴取）</p> <p>○ ICT 端末の録音機能を活用し、一人一人録音をすることで、それぞれの思いに合った歌唱表現を記録し、振り返るようにする。</p> <p>○楽譜（端末上／拡大楽譜）を活用し、どのような表現で歌うとよいか振り返るようにする。</p> <p>○記述が難しい生徒は、机間指導の中で教師とともに音色や強弱の視点で、どの部分を工夫したのか振り返るようにする。</p>
---	--

9 板書計画

今日の課題
歌詞や曲想にふさわしい表現を考えよう

今日のポイント

ねいろ
音色
声や楽器の音色。
自然音や環境音など。

きょうじゃく
強弱
音量の大小のこと。
(変化・強調)

せんりつ
旋律
メロディ(フレーズ・音階)
音と音のつながり方。

①曲の山場「Ah」



②曲の最後「Hum」



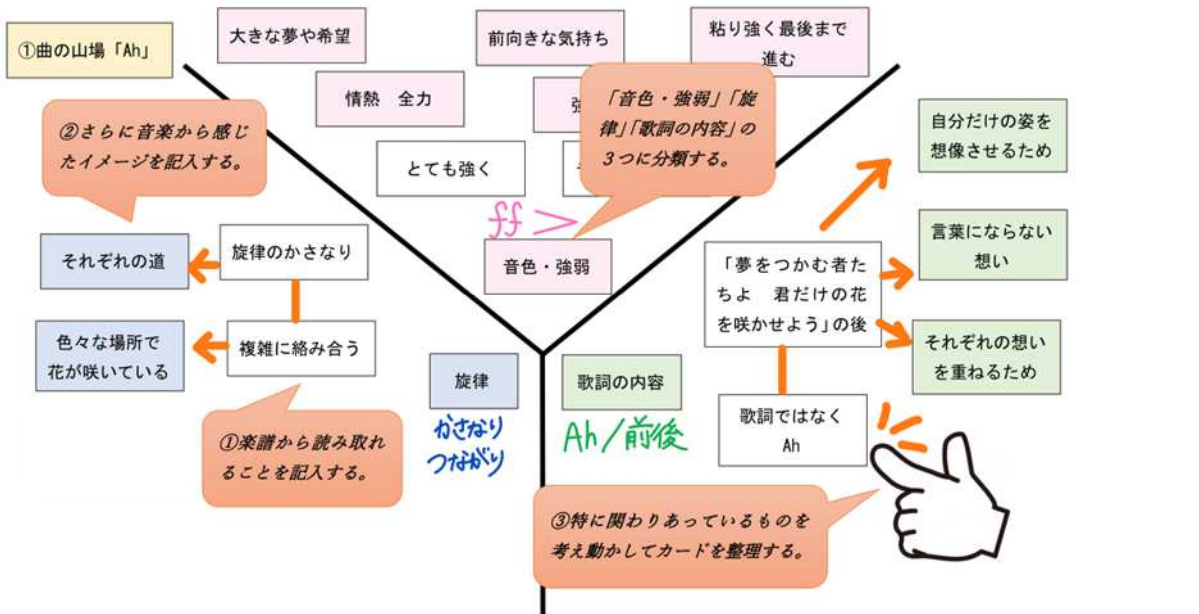
学校の実態や授業スタイルに合わせて、拡大楽譜か ICT 端末上での楽譜を画面共有等で提示・書き込む。
例：ロイロノート/Google jam board など

記号の意味や学習の中で気付いたことを、
学習の足跡として楽譜に書き込んでおく。

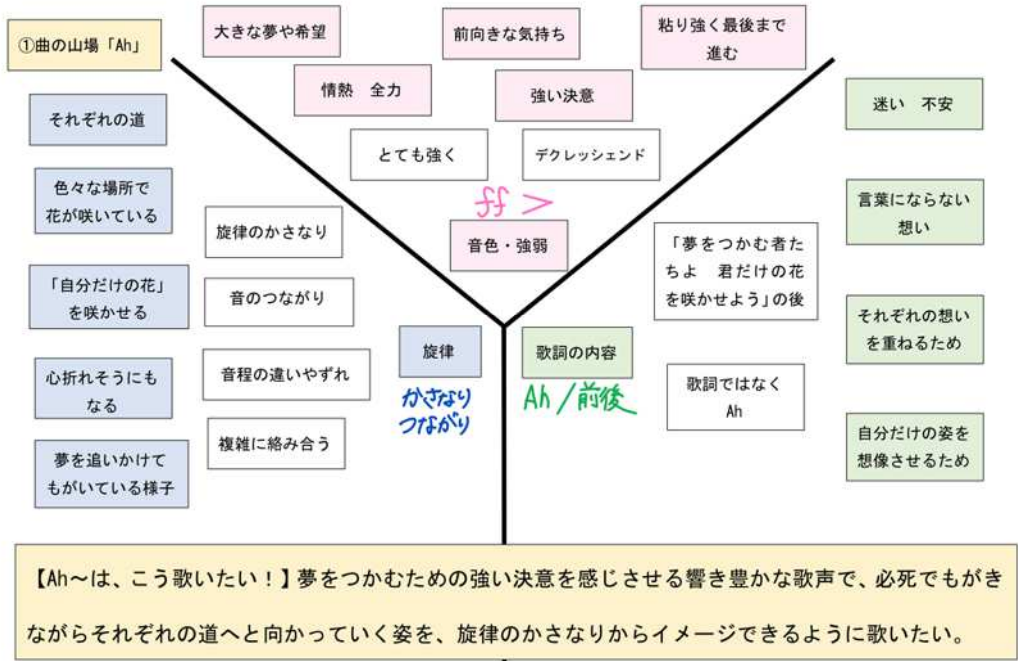


10 ワークシート例（生徒の記述例）

(1) 曲の山場「Ah」の部分に係る生徒の記述例



シンキングツールの活用→カードを指で動かして整理→知覚と感受をつなげる
 例：ホワイトボード機能のあるソフト
 （ロイロノート/Google jamboard など）



【Ah～は、こう歌いたい！】夢をつかむための強い決意を感じさせる響き豊かな歌声で、必死でもがきながらそれぞれの道へと向かっていく姿を、旋律のかさなりからイメージできるように歌いたい。

①曲の山場「Ah」の場面には、どのような思いが込められているだろうか。
【音色・強弱】【旋律】【歌詞の内容】を手がかりに、どのように歌いたいかについて自分なりの考えを書きましょう。

生徒のワークシート記述（ICT端末使用）

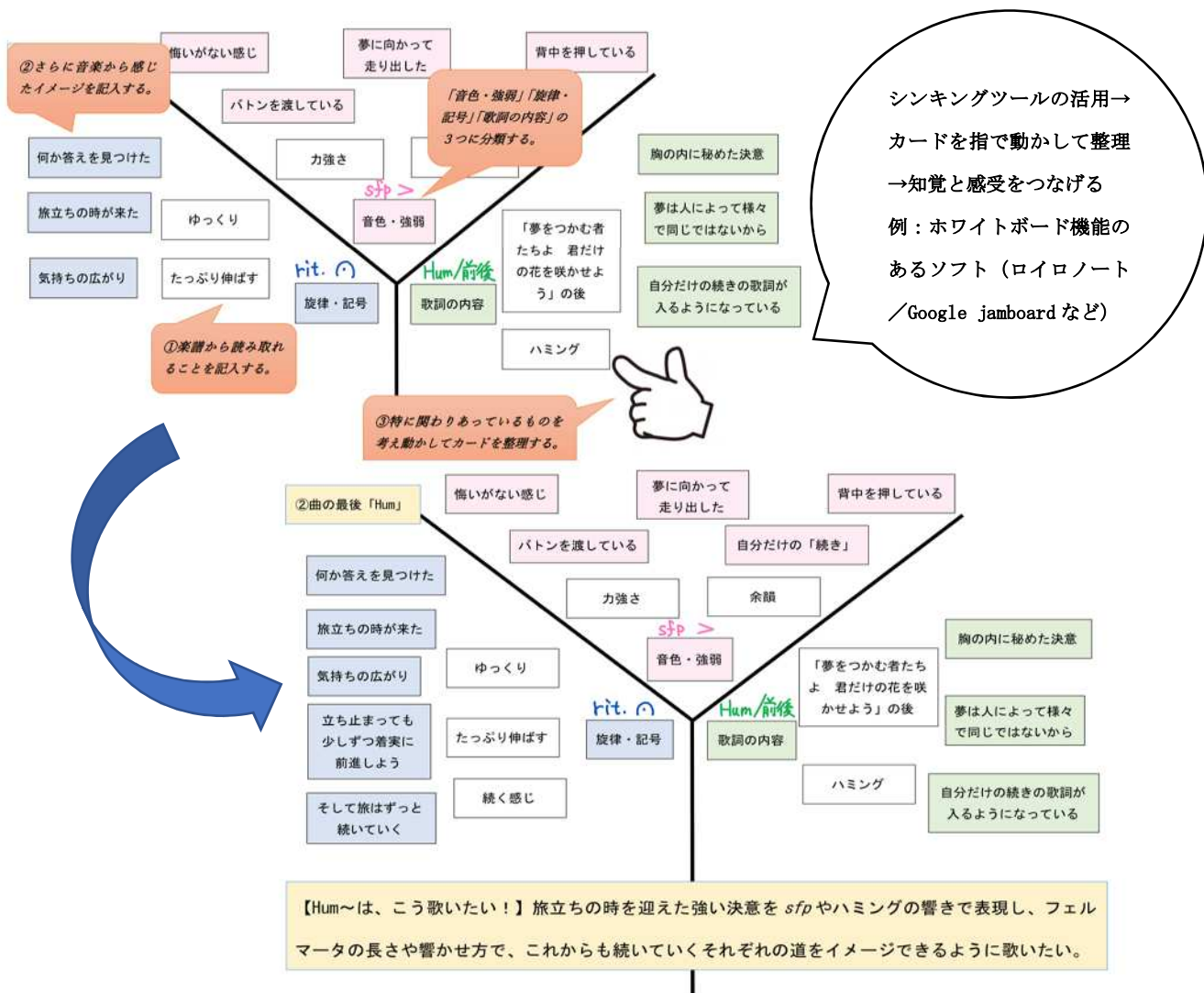
- ・「ff」→「夢をつかむ者たちよ 君だけの花を咲かせよう」の部分から、その情熱を伝えるために勢いをそのまま深い声の音色で歌いたい。
- ・「複雑に絡み合う旋律」→夢を追いかけている最中、もがいている様子。出口が見えない感じで不安。各パートの声をよく聴いて、バトンを受け継ぎ次につないでいくようなイメージで歌いたい。

- ・夢を持つものたちが、未来への希望を胸に、自分の芽をつけていく場面を表現している。（または、これから芽をつけて花を咲かせていく様子を想像している。）歌詞にならない言葉を表現するために、透明感のあるハーモニーで歌いたい。
- ・「旋律のかさなり」→自分の花をこれから咲かせ、自分なりに成長して欲しいという思いが込められている。自分の声、パートの声、全体の声をよく聞きながら、丁寧に歌いたい。

- ・全部のパートが「ff」でとても強く歌うのに、歌詞がなく「Ah」なのが印象に残った。「夢をつかむ者たちよ 君だけの花を咲かせよう」の後なので、強い思いや意思をもって進んでいく姿を想像させるためなのかなと考えた。また、時々デクレッシェンドがついていることから、夢に向かって進んでいく中で、心折れたり迷うこともあるけれど、粘り強く最後まで突き進もうというメッセージも隠されているのかなと思った。「ff」をとても強く歌うと捉えるだけでなく、壮大な感じが出せるように声の音色を工夫して歌いたい。

楽譜と音源を一枚のワークシートにまとめることで、ICT端末で鑑賞しながら記述することができ、音楽的な思考をより深めることができる。（個別最適化学習） 例：音源資料を配布できる学習支援ソフト（ロイロノートなど）

(2) 曲の曲の最後「Hum」の部分に係る生徒の記述例



②曲の最後「Hum」の場面には、どのような思いが込められているだろうか。
【音色・強弱】【旋律・記号】【歌詞の内容】を手がかりに、どのように歌いたいかについて自分なりの考えを書きましょう。

生徒のワークシート記述 (ICT 端末使用)

・最後に余韻を残すことで、この歌を忘れずに前進して欲しいという願いが込められている。音の切り方を合わせて丁寧に歌いたい。

・それぞれの道へと旅立っていき、どんな花を咲かせたのか「自分だけの続きの歌詞」が入っていると思う。夢は人によって様々で、全く同じものを目指している人はいないと思うから、あえて歌詞ではなくハミングにすることで、「自分だけの花」を思い描けるようにしている。響きを大切に歌いたい。

・あえて歌詞ではなくハミングにすることで、自分の思いをもっと広げて欲しいという思いがあるように感じた。それぞれの道へと心を広げて旅立っていく様子を表現したいので、柔らかく響く声で音色を合わせて歌いたい。

楽譜と音源を一枚のワークシートにまとめることで、ICT 端末で鑑賞しながら記述することができ、音楽的思考をより深めることができる。(個別最適化学習) 例：音源資料を配布できる学習支援ソフト (ロイロノートなど)

11 本時の学習指導における「思考・判断・表現（歌唱）」の評価例

(1) 主な学習活動

- ・①曲の山場「Ah」②曲の最後「Hum」2つの場面について音色・強弱・旋律を知覚・感受し、歌詞の内容と関連付けて考えることで、歌唱表現したいイメージを記述する。
- ・2つの場面を中心に、パートやグループで実際に歌ったり、意見交換をしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を工夫する。

(2) 評価規準

思 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもち、曲にふさわしい歌唱表現を工夫している。

○記述における「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント 〈ワークシートの記述〉

★歌詞やイメージと音楽を形づくっている要素とのつながりを感じながら記述しているか。

【例】「音楽を形づくっている要素」 ↔ 「記号」 ↔ 「記号の意味」 ↔ 「イメージ」

下記例の生徒は、①曲の山場「Ah」の場面の音色・強弱・旋律について、知覚・感受したことを踏まえて、自分がイメージしたことを記述している。また、音楽の特徴と歌詞の内容とのつながりを考えながら、どのように歌いたいかについて記述している。以上のことから「おおむね満足できる」状況（B）と判断することができる。

【例】曲の山場「Ah」

音楽を形づくっている要素	記号	記号の意味	イメージ
強弱	<i>ff</i>	とても強く	情熱 全力

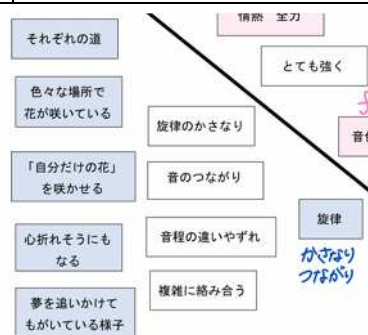


要素（記号）や意味を理解し、歌詞の内容と関連付けながら自己のイメージとのつながりをもって記述している。

- ・「ff」→「夢をつかむ者たちよ 君だけの花を咲かせよう」の部分から、その情熱を伝えるために勢いをそのまま深い声の音色で歌いたい。

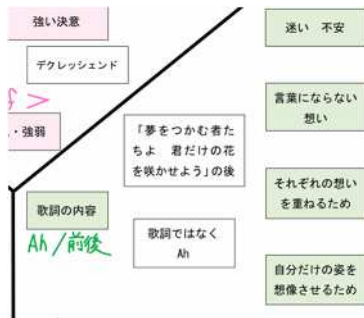
音楽を形づくっている要素	特徴や動き	イメージ
旋律	かさなり つながり 入るタイミングの違い	それぞれの道 もがいている

【旋律】の特徴や動きから、イメージにつなげていることが見て取れる。「イメージのみ」（感受）や「特徴や動きのみ」（知覚）などに偏らないよう指導していく。思考のつながりをもっているかどうか、評価のポイントとなる。



・「複雑に絡み合う旋律」→夢を追いかけている最中、もがいている様子。出口が見えない感じで不安。

歌詞	特徴や動き	イメージ
Ah	歌詞がない パートごとの動き	言葉にならない思い それぞれの思い



【歌詞】の特徴や内容から、イメージにつなげていることが見て取れる。「イメージのみ」(感受)や「特徴や内容のみ」(知覚)などに偏らないよう指導していく。思考のつながりをもっているかどうかが、評価のポイントとなる。

・歌詞がなく「Ah」なのは、それぞれの思いや意思を持って進んでいく姿を想像させるため。

○記述における「十分満足できる」状況（A）の例

下記例の生徒は、①曲の山場「Ah」の場面の音色・強弱・旋律について、知覚・感受したことを踏まえて、自分がイメージしたことを詳細かつ総合的に記述している。また、音楽の特徴と歌詞の内容とのつながりを考えながら、学習したことを踏まえて根拠をもってどのように歌うかについて記述している。以上のことから「十分満足できる」状況(A)と判断することができる。

・全部のパートが「ff」でとても強く歌うのに、歌詞がなく「Ah」なのが印象に残った。「夢をつかむ者たちよ君だけの花を咲かせよう」の後なので、強い思いや意思をもって進んでいく姿を想像させるためなのかなと考えた。また、時々デクレッシェンドがついていることから、夢に向かって進んでいく中で、心折れたり迷うこともあるけれど、粘り強く最後まで突き進もうというメッセージも隠されているのかなと思った。

○歌唱表現における「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント

〈歌唱表現の聴取〉

★記述で具体的に思考・判断したポイントを、実際の歌唱表現につなげようとしているか。

下記例の生徒は、①曲の山場「Ah」の場面の音色・強弱・旋律について、知覚・感受したことを踏まえて、自分のイメージを伝えるための歌唱表現を工夫している。また、音楽の特徴と歌詞の内容とのつながりを考えながら、どのように歌うかについて思いや意図をもって表現活動に取り組んでいる。以上のことから「おおむね満足できる」状況（B）と判断することができる。

【例】曲の山場「Ah」

【音色・強弱】ff とても強く→各パートの入りをしっかりと。深い声の音色で歌いたい。

【歌詞】Ah→歌詞がないのは言葉にならない思い→豊かな響きでしっかり歌う。



【旋律】重なり方がポイント→スラーを意識し、フレーズの最後まで丁寧に歌うことで、揺れ動く心情を表現する。

○歌唱表現における「十分満足できる」状況（A）の例

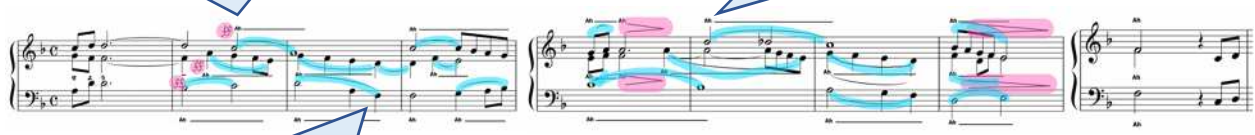
下記例の生徒は、①曲の山場「Ah」の場面の音色・強弱・旋律について、知覚・感受したことを踏まえて、自分のイメージを伝えるための歌唱表現を詳細かつ総合的に工夫している。また、音楽の特徴と歌詞の内容とのつながりを考えながら、どのように歌うかについて思いや意図をもって表現活動に取り組み、そのための手立てを工夫している。以上のことから「十分満足できる」状況（A）と判断した。

途中にあるデクレッシェンドにも注目し、揺れ動く思いや迷い・不安の表現が伝わるようにする。

母音唱の響きを豊かにするために、ふさわしい口形や表情、息の流れを工夫する。

【音色・強弱】ff とても強く→各パートの入りをしっかりと。深い声の音色で表現する。

【歌詞】Ah→歌詞がないのは言葉にならない思い→豊かな響きでしっかり歌う。



【旋律】重なり方がポイント→スラーを意識し、フレーズの最後まで丁寧に歌うことで、複雑に揺れ動く心情を表現する。

旋律が途切れないように歌うために、ふさわしい息継ぎの位置を考える。

※なお、実際の評価時、活動観察とワークシートの重み付けや配分は、生徒の実態に合わせて適切に設定することが重要である。

【参考～歌唱指導から創作指導へのつながり～】

- ・ 3年間の歌唱指導の集大成→世界にひとつだけの合唱曲を創作する。
- ・ 1年生→リズム／2年生→旋律／3年生→合唱を創作する。
- ・ ブラウザ上で使用できるキーボード（バーチャルピアノなど）や音楽作成ソフト（Chrome Music Lab など）を活用し、創作活動を行う。
- ・ 3年生を送る会や卒業式で合唱する。
- ・ 卒業時に創作曲楽譜と音源（CD／YouTube 限定公開／QR コード）を贈る。